



2002年も無事明けることができまして、ホッとしております。前人未到？の21世紀も2年目に突入することができました。そういえば、2000年を迎える前に、人類は滅亡するとかしないとか、色々心配する声もありましたが、2000年を越えてからは、あっというまにここまで来てしまったような気がします。

というわけで、私め上村(うへむら)と申しますが、今月から、はーとレタークラブに参加させていただきますので、よろしくをお願いします。

私が「あなたがいるだけで幸せ」という言葉と出会ったのは、もう5年程前になります。1996年の冬だったと思います。それは、小さな画用紙で、上に穴を開け、かわいいプラスチックのリングに綴られていました。中には青い色鉛筆で、手書きのエッセイが書かれていました。枚数は30枚ほどだったでしょうか。そのとき、いちばんはじめのページに書かれていたのが、「あなたがいるだけで幸せ」という言葉でした。

「あなたがいるだけで幸せ」という言葉は不思議な言葉だと思いませんか？

というのも、言った本人も、言われた相手も、両方ともうれしくなる言葉ですよ。

「こんにちは」「はじめまして」「ごめんなさい」「がんばれ」「おめでとう」などなど、日本語には色々な言葉があるけど、言った側も、言われた側も両方うれしい言葉ってなかなかないのではないのでしょうか。

「あなたがいるだけで幸せ」に似ている言葉に、「あなたがいると幸せ」や「あなたがいるから幸せ」というのもありますが、「あなたがいると幸せ」って言われると、何となく「うれしい」という気持ちより、「逃がさへんで…」と言われていたような、

少し「うす寒ーい」気持ちになってしまいますよね。

また、「あなたがいるから幸せ」だと、「あなた」が存在するだけで、というよりも「あなた」に才能がある「から」とか、やさしい「から」、だからみたいな、「あなた」のもたらす「何か」に期待されているような負担を感じてしまいます。

「あなたがいると幸せ」「あなたがいるから幸せ」ってことは「あなた」がいなくなったら「幸せ」ではなくなってしまうのでしょうか。

「私の幸せ」の条件に「あなた」の存在がかかっています、みたいであまりうれしい言葉には思えなくなってしまいます。

「あなたがいるだけで幸せ」という言葉のすばらしいところは、「あなた」の行為にではなく、存在自体に「幸せ」を感じられることです。そしておそらく「わたしはすでに幸せ」であり「あなた」の存在で「ますます幸せ」という2重の幸せを感じられるからなのかも知れません。

私も、奥さんには「あなたがいるだけで幸せ」と思っているのですが、これがなかなか、やはりそうは思えないときも、しばしばあるのであります。しかしながら、またしばらく経つと「あなたがいるだけで幸せ」と思えるようになっていたりして。結婚して12年、これをずっと繰り返しております。不思議なことに奥さんはその間ずっと変わっていないのです。やること、やらないこと、言うこと、言わないこと、ほとんど一緒です。それでも思えたり、思えなかったり、何でだろう。何が変わっているんだろう…。この前やっと気が付きました。私の機嫌がころころと変わっているだけでした。